

第20回 全国漁港漁場整備技術研究発表会

東日本大震災津波からの 復興に向けた「まちづくり」について

岩手大学 南 正昭

本日の内容

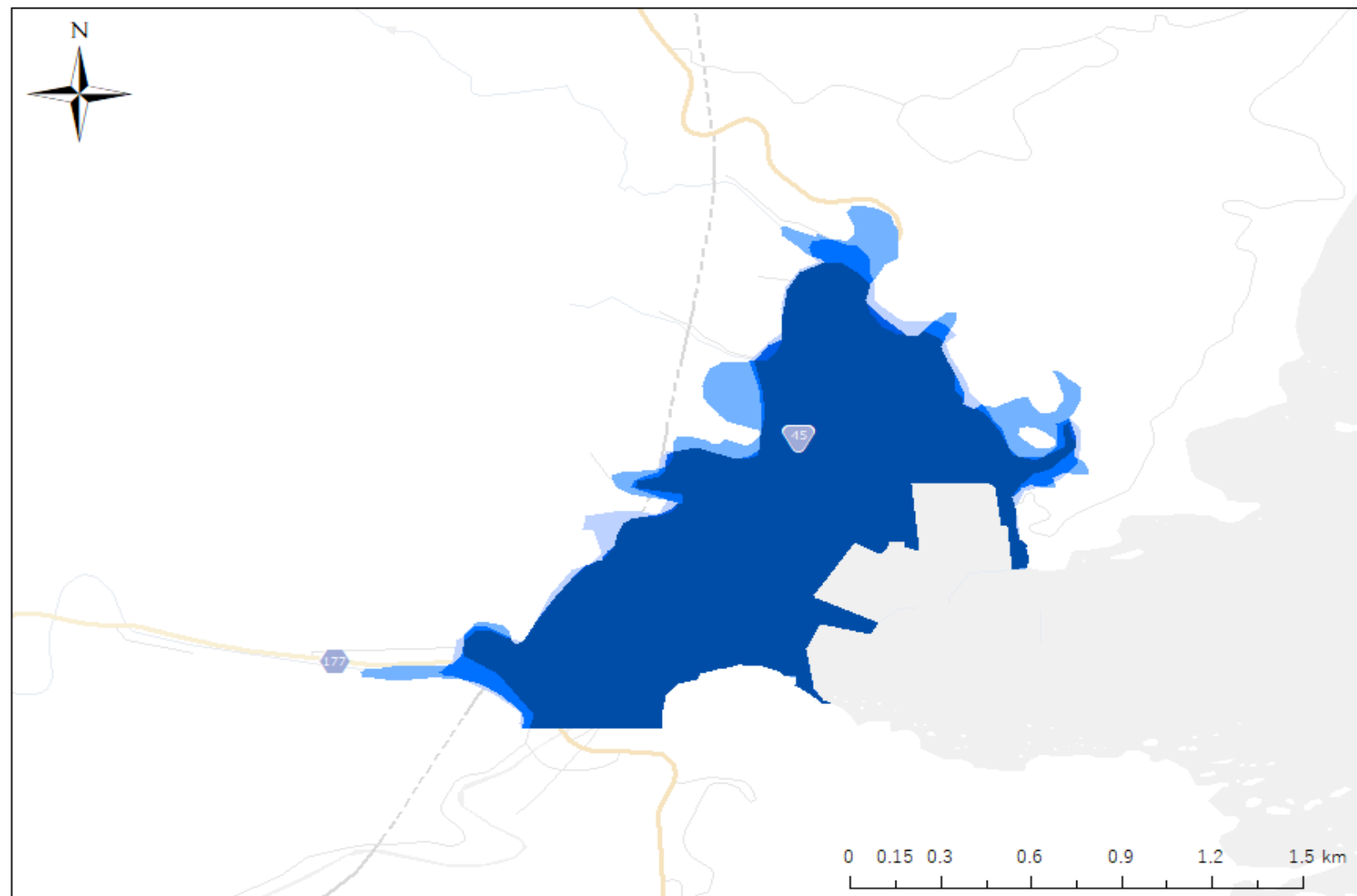
- すでにあったレジリエント社会
- 東日本大震災からの復興まちづくり
- 次世代へ
- 未来への備え

岩手県宮古市田老地区 3・11以前



繰り返す津波災害

津波浸水回数毎エリア



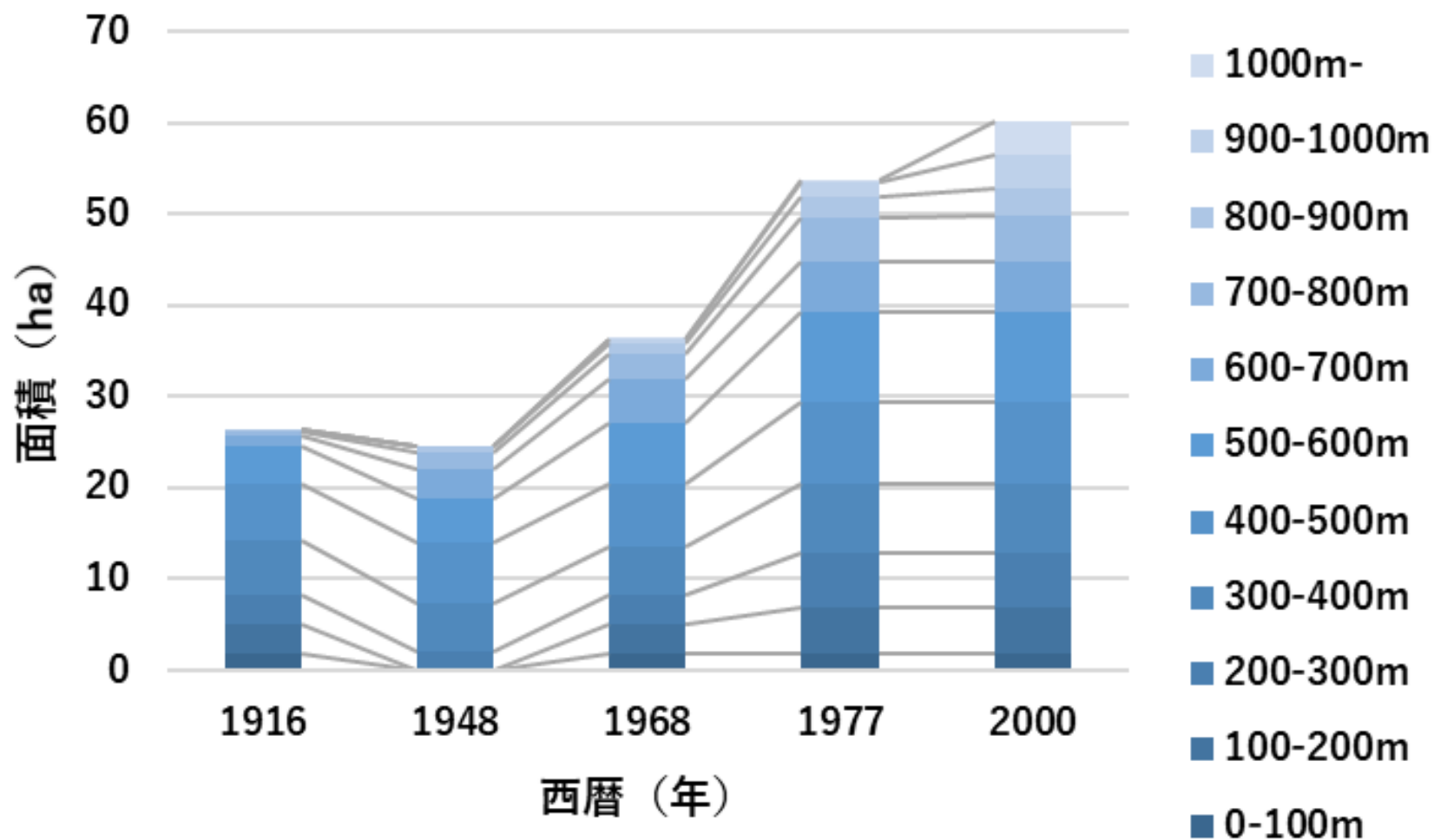
宮古市田老地区

凡例

- 浸水回数1回(M)
- 浸水回数1回(H)
- 浸水回数2回(M,S)
- 浸水回数2回(M,H)
- 浸水回数3回(M,S,H)

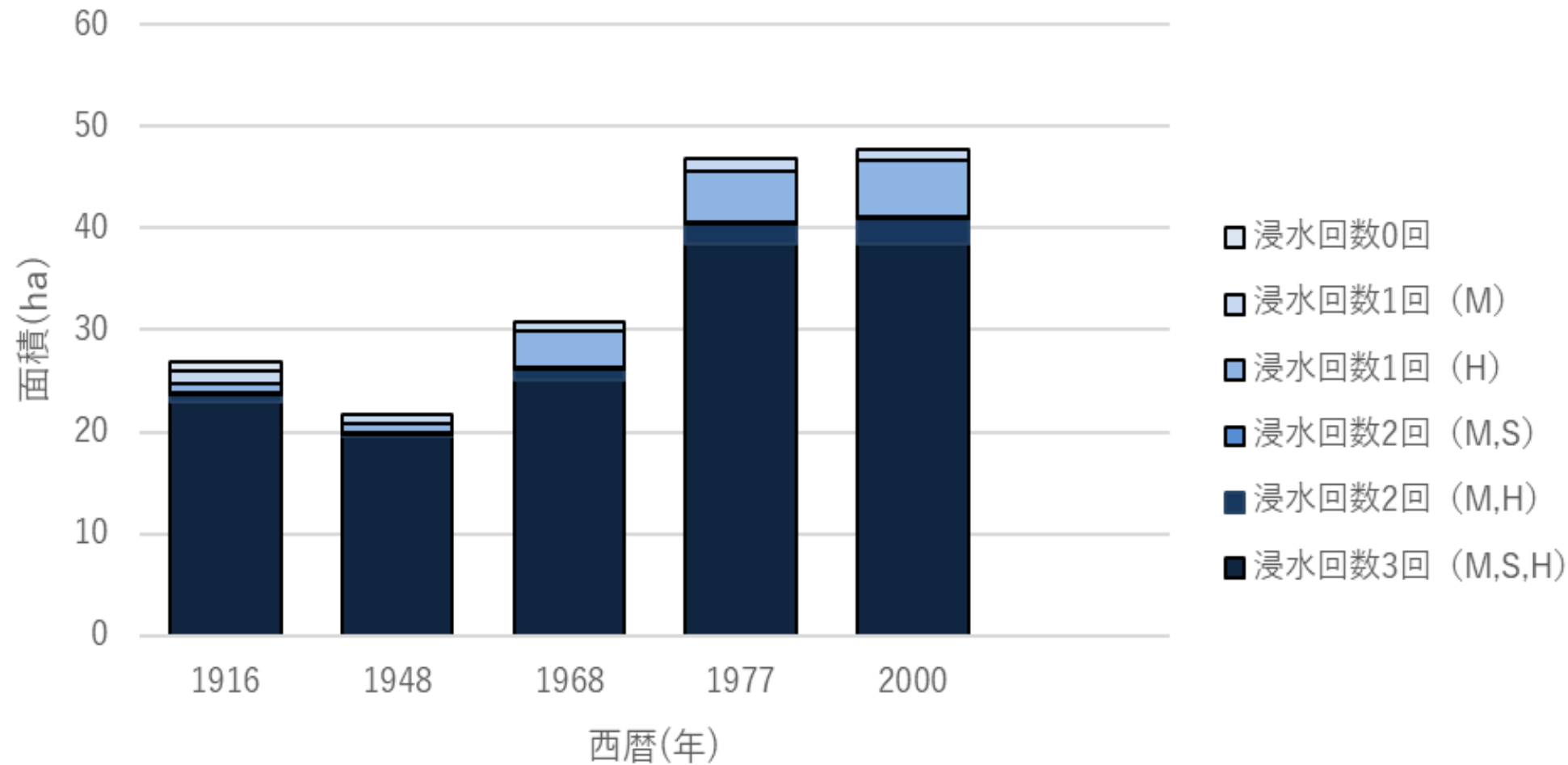
海岸線からの距離100m毎の市街地面積の推移

富古市田老地区



全市街地面積に対する津波浸水回数別 市街地面積の割合の推移

田老地区



2011年3月24日 田老訪問



復興への道のり

防災は命，復興は人生の問題



3.11復興計画の策定と実施

方針

被災調査

津波レベル LEVEL1, LEVEL2

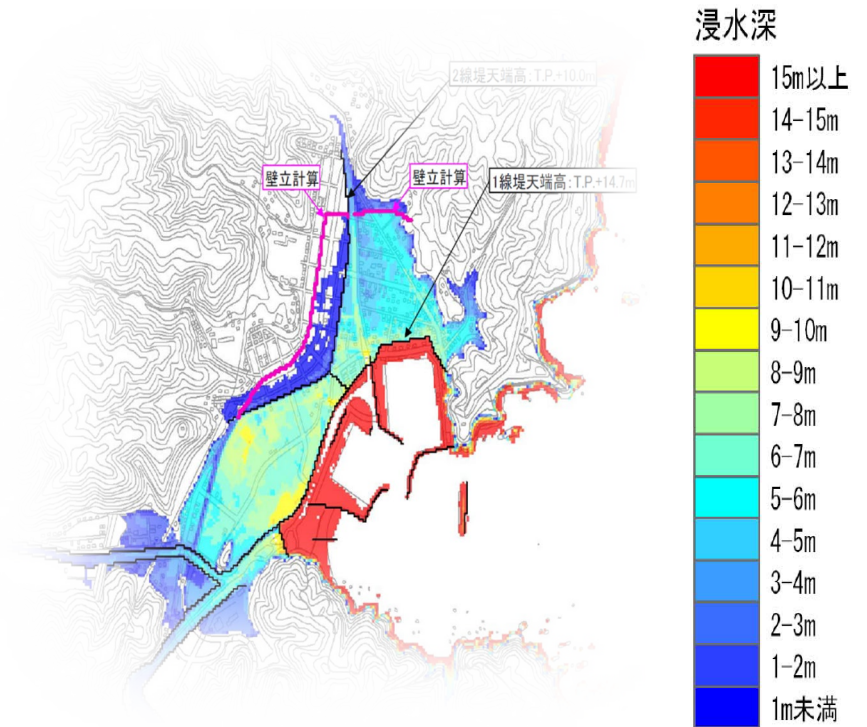
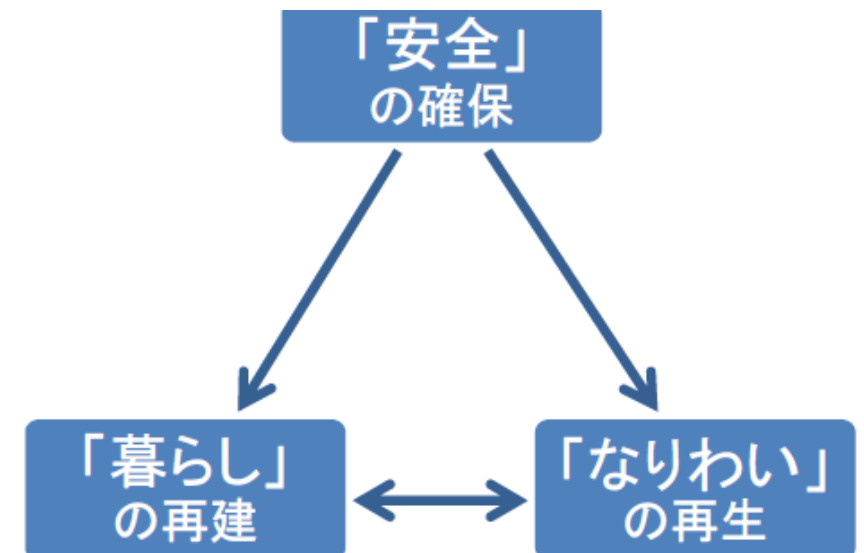
津波シミュレーション

防潮堤高さ

土地利用

復興まちづくり

津波防災のまちづくりへ



地域社会 ⇒ 地域復興

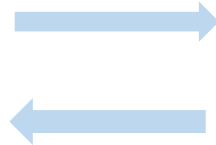
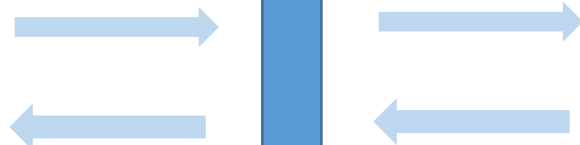
(被災)地域

外部支援

課 題

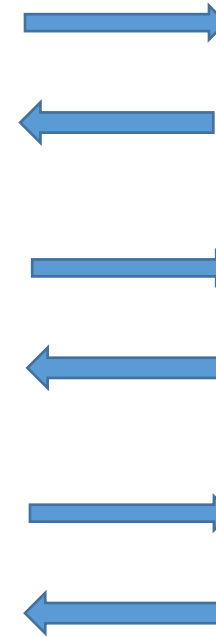
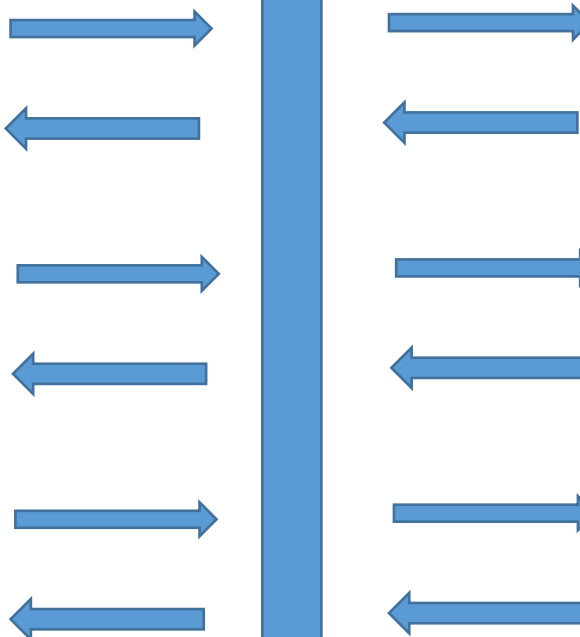
岩手モデル

地域の歴史・文化



3.11,2011

住民主体
内発的復興



個人

組織

協働

総合

阪神淡路大震災
中越地震

・
・

国連仙台枠組み

Build Back Better

Advance Recovery

レジリエンス



住民同士の主体的な集まり グリーンピア内(2013,9)

活動団体

団体名	代表者	中心人物	参加人数	活動内容
ひまわりの会			5人	手芸(編み物、クラフトバンドを使った作品)
あみの会			9人	手芸(編み物、クラフトバンドを使った作品、縫い物) 人間関係で時々問題あり
ベビーハンモック			7人?	ベビーハンモック
シルバーテニスの会			25人?	クラフトバンドを使った作品(バック、小物入れ、飾り物) 最近では東京で作品を売っている。指導してくれる先生が取りまとめているようだ。
ゆいとり会の会			10人	縫い物(チュニック、バック、帽子、小銭入れ、バスカード入れ、ティッシュケース、袱紗、 小物入れ、犬のストラップ) 外部からの持ち込みの商品も置いている。商品が切れないようにする為の配慮?



佐藤(悦)・南・添田:被災地で手しごとを实践する女たち—宮古市田老地区を事例に—,
日本災害復興学会論文集, 第8号

2012/1/5 田老地区復興まちづくり検討会 (第3回追加分)



田老総合事務所 3階にて



地区復興まちづくり計画（案）

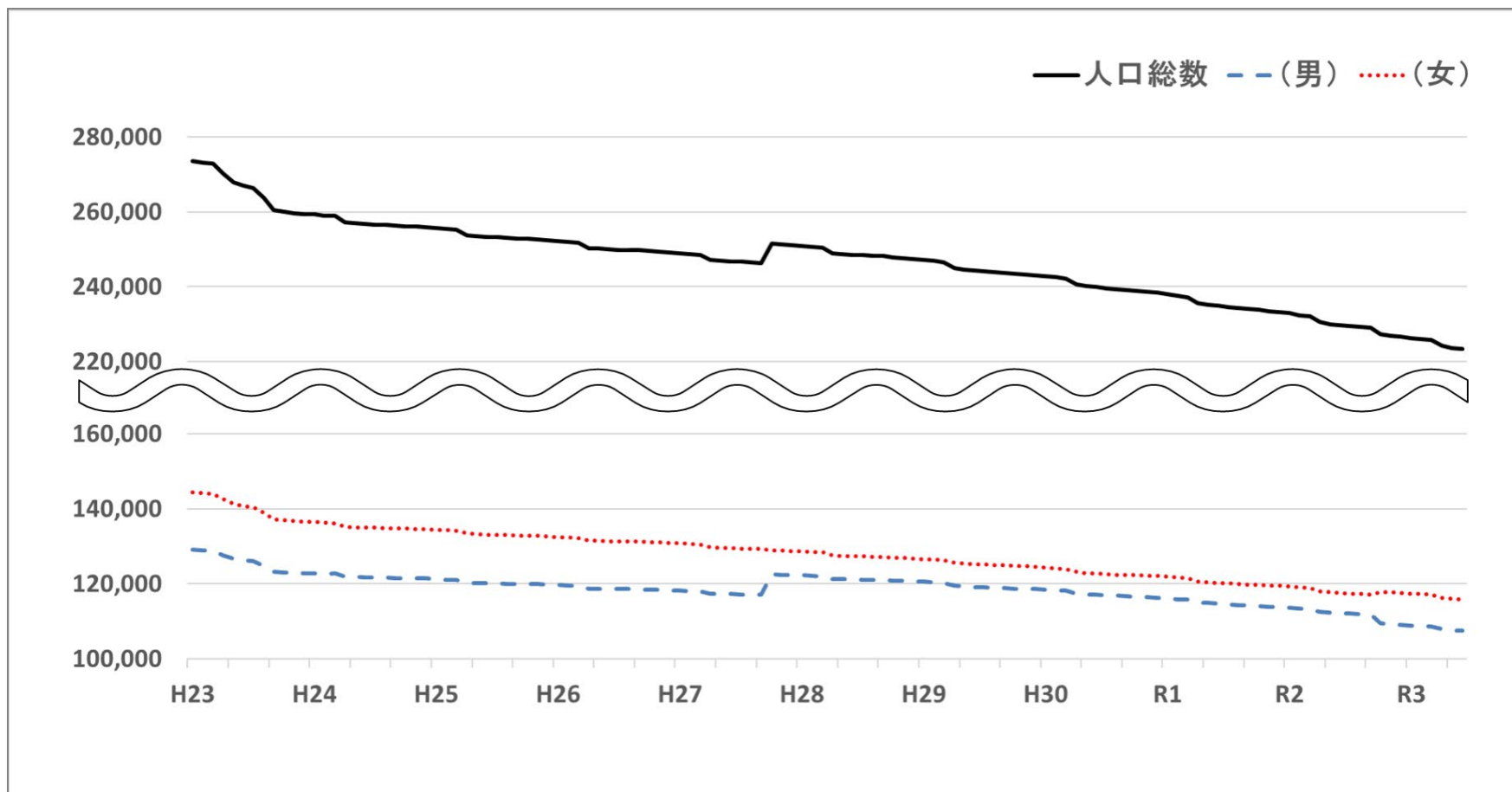
2012/1/5

山王団地から

2021. 3. 11



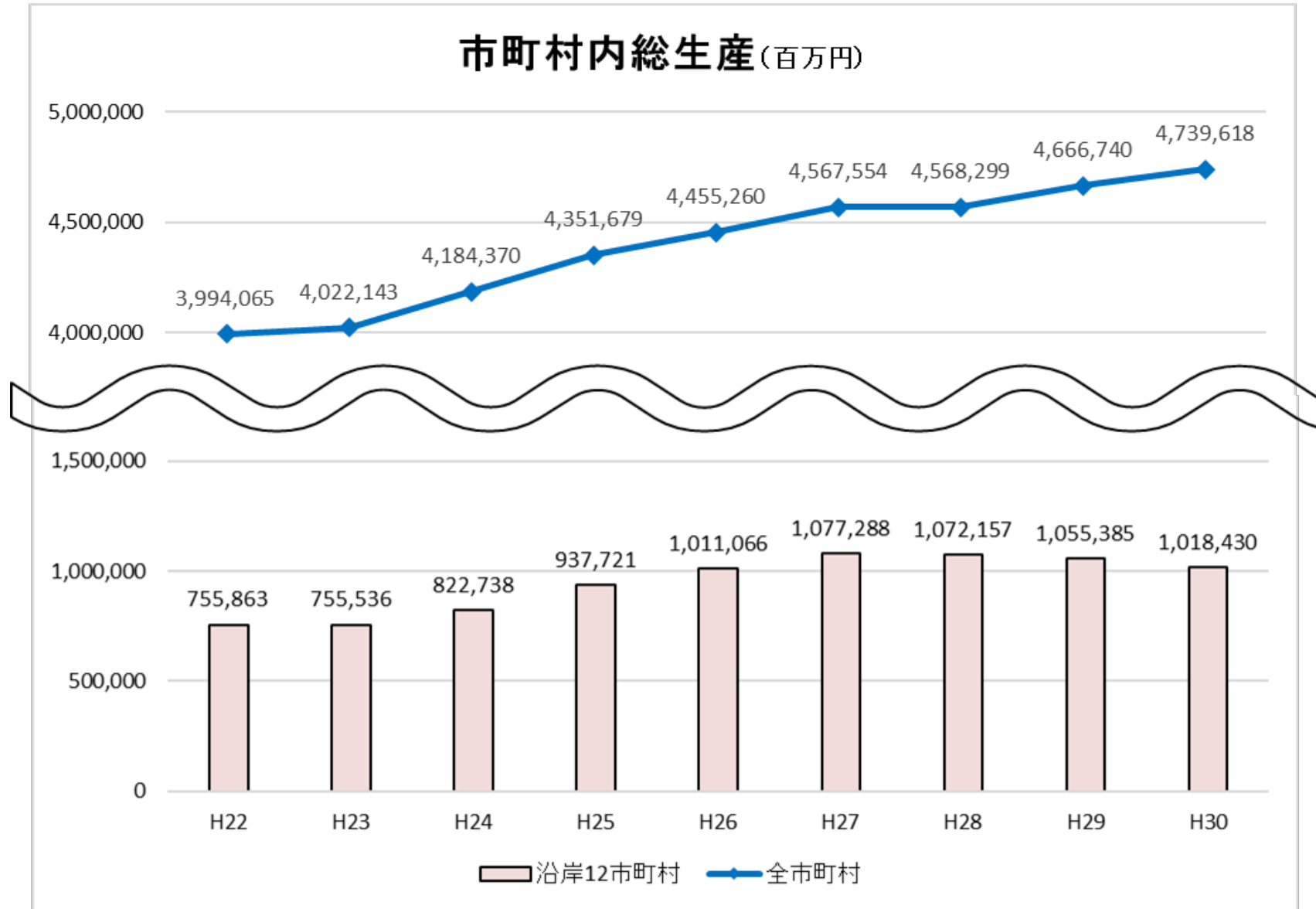
人口 令和3年6月1日現在（岩手県沿岸）



岩手県データ

- ・ 令和3年6月1日現在 沿岸部人口 223,287人
- ・ 震災前（平成23年3月1日現在）比較 49,650人（18.2%）減少
- ・ 男性 21,419人（16.6%）減少 女性 28,231人（19.6%）減少

市町村内総生産（年度累計）（岩手県沿岸）

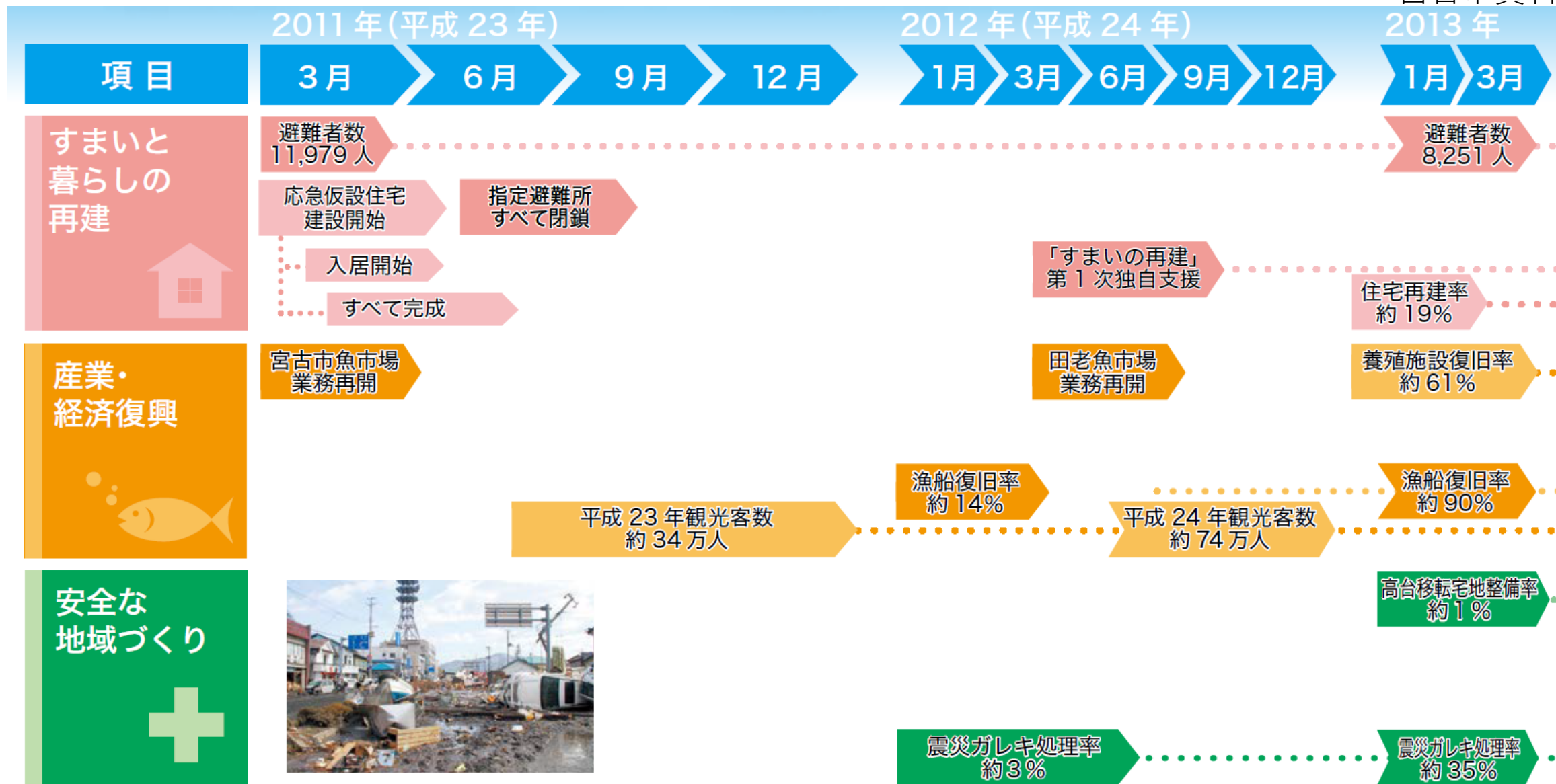


岩手県データ

復興への歩み

2021. 3. 11

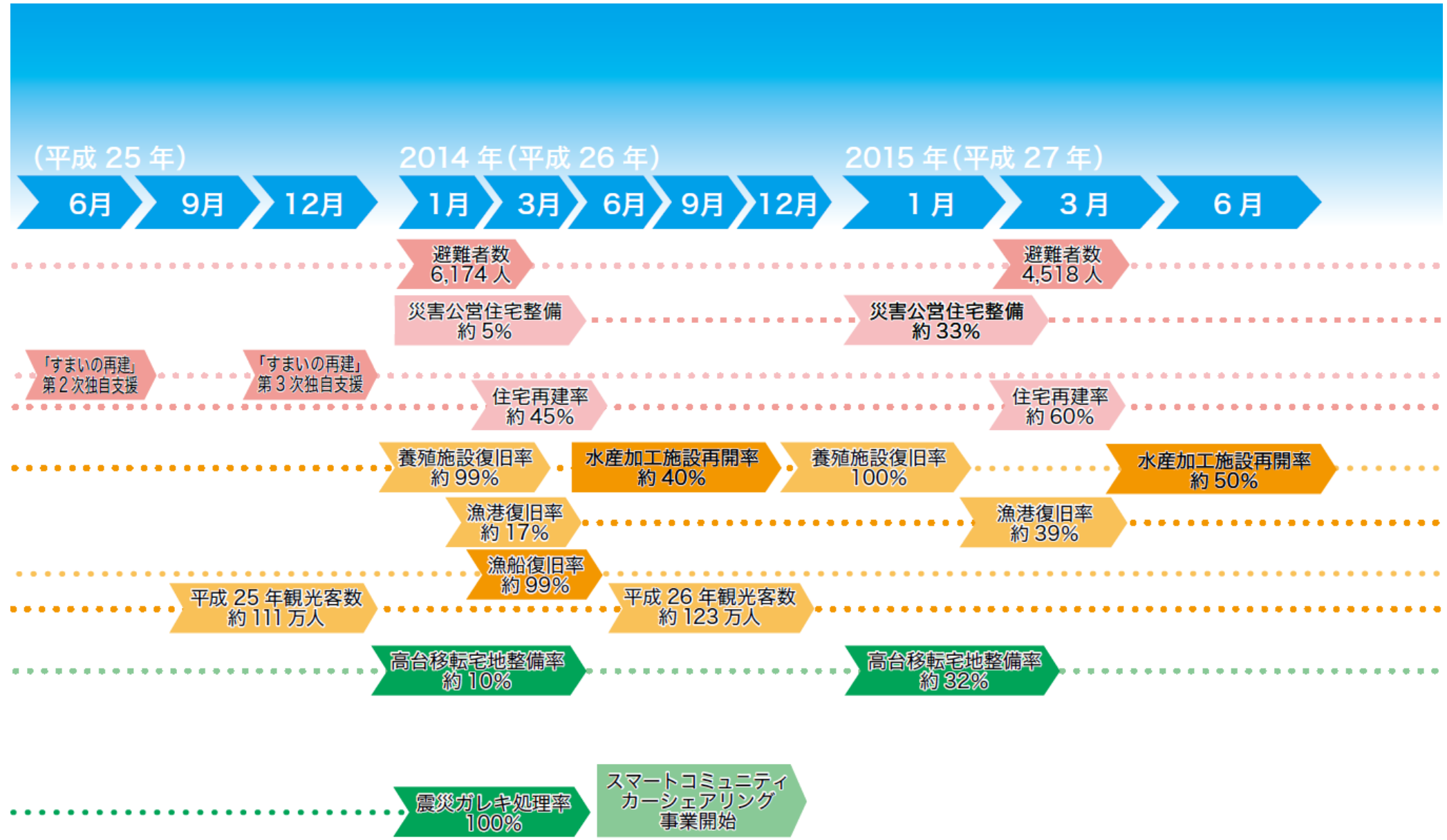
宮古市資料



宮古市 復興への歩み

2021. 3. 11

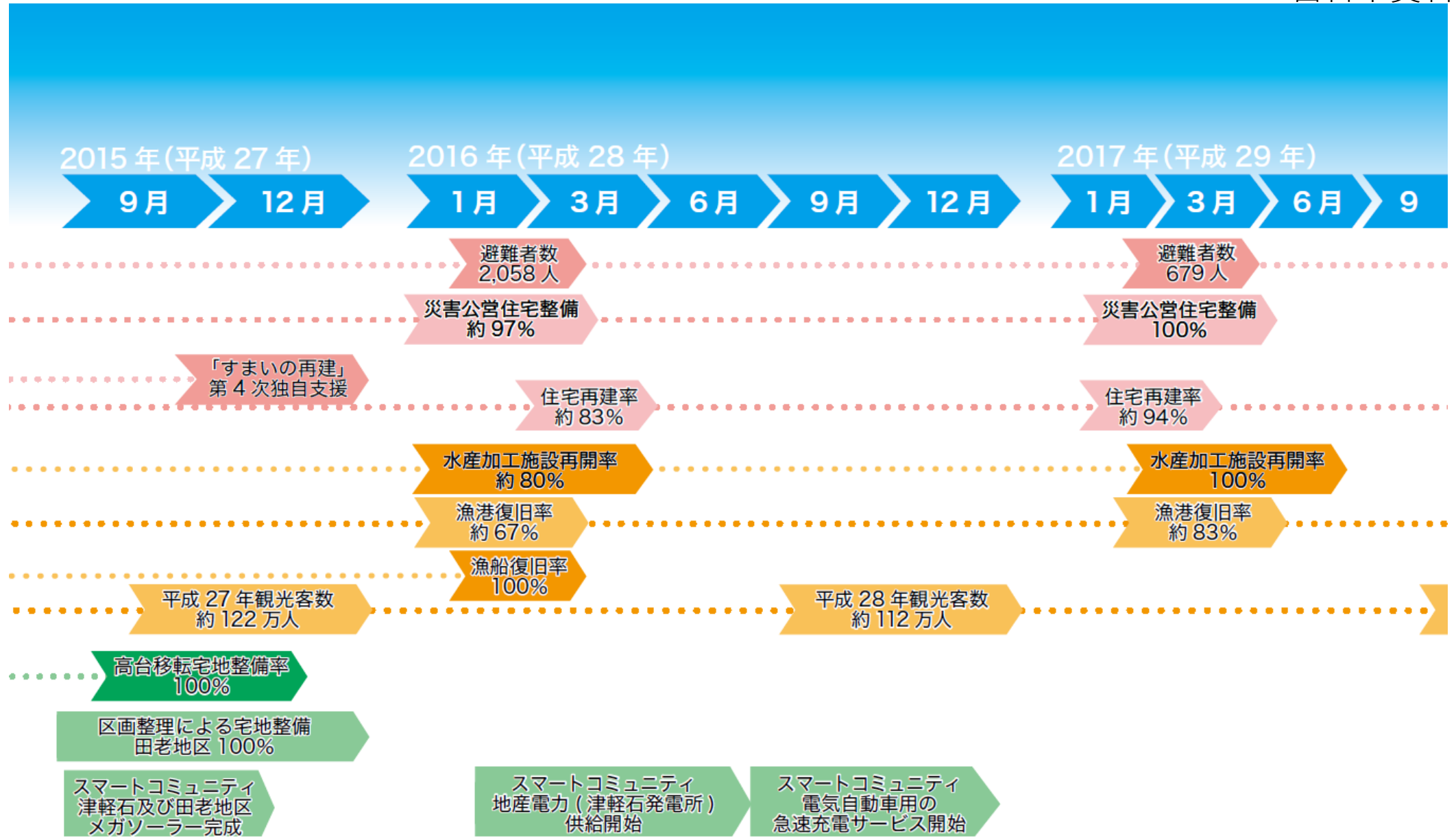
宮古市資料



宮古市 復興への歩み

2021. 3. 11

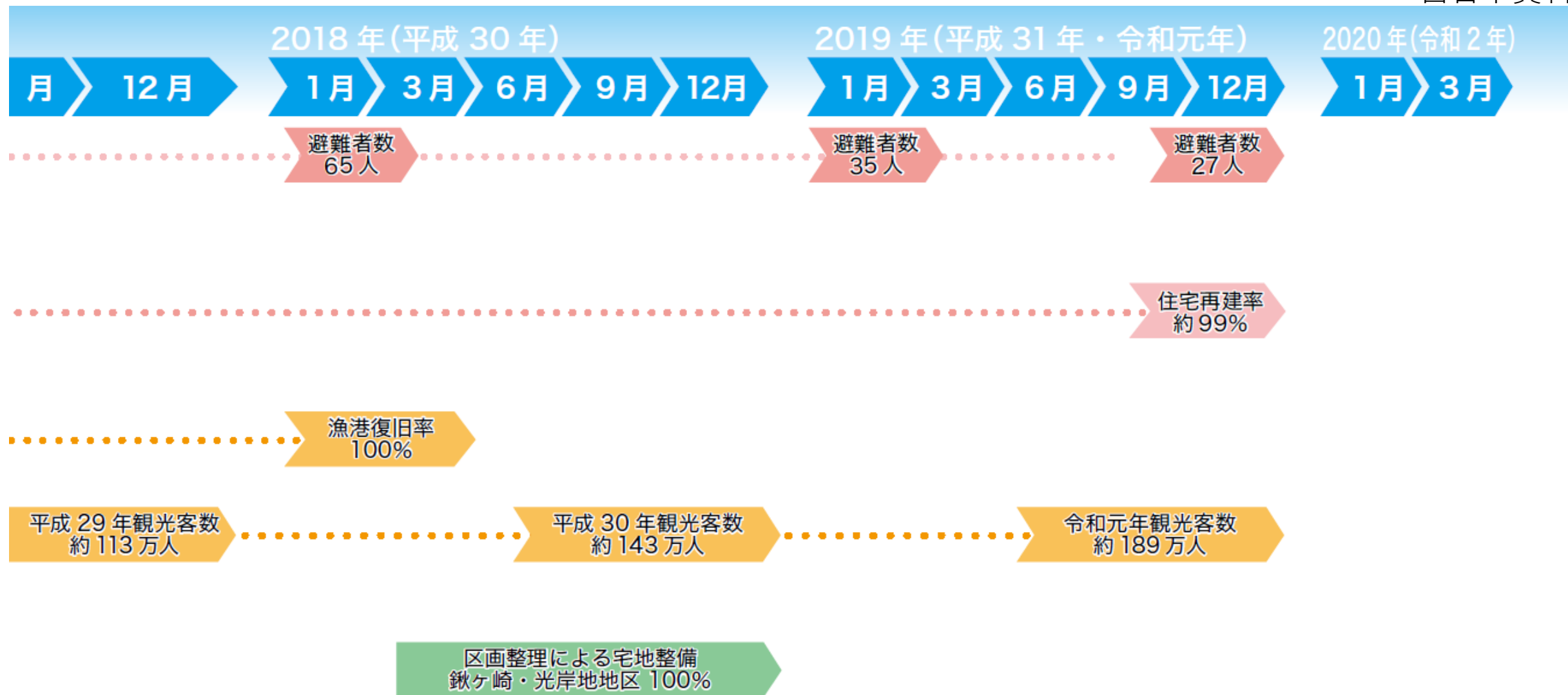
宮古市資料



宮古市 復興への歩み

2021. 3. 11

宮古市資料



新津波浸水想定⇒被害想定 人の被害

(単位:人)

対象地震	想定ケース	津波	建物倒壊	火災	急傾斜地崩壊等	合計
日本海溝 (三陸・日高沖) モデル	冬・深夜	6,700	110	*	10	6,800
	夏・昼12時頃	2,700	20	*	10	2,700
	冬・夕18時頃	7,000	*	40	*	7,100
千島海溝 (十勝・根室沖) モデル	冬・深夜	1,000	－	－	－	1,000
	夏・昼12時頃	1,400	－	－	－	1,400
	冬・夕18時頃	1,800	－	－	－	1,800
東北地方 太平洋沖地震	冬・深夜	3,200	110	*	*	3,300
	夏・昼12時頃	3,100	10	*	*	3,200
	冬・夕18時頃	4,200	*	10	*	4,200

「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」

避難意識等の向上による効果

検討ケース	①早期避難者比率 が低い場合	①本調査結果	②早期避難者比率 が高い場合	③全員が発災後す ぐに避難を開始した 場合（避難速度 1.79km/h）	④全員が発災後す ぐに避難を開始した 場合（避難速度 2.24km/h）
日本海溝（三陸・日高 沖）モデル	15,608	7,000	4,319	2,500	922
増減率	222%	0%	-39%	-65%	-87%
東北地方太平洋沖地震	17,528	4,200	685	148	0
増減率	420%	0%	-84%	-96%	-100%

「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」

地域社会 ⇒ 地域復興

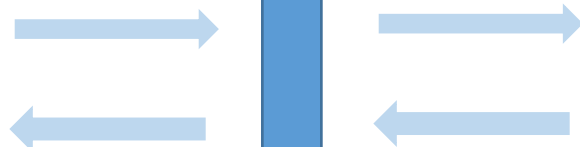
(被災)地域

外部支援

課 題

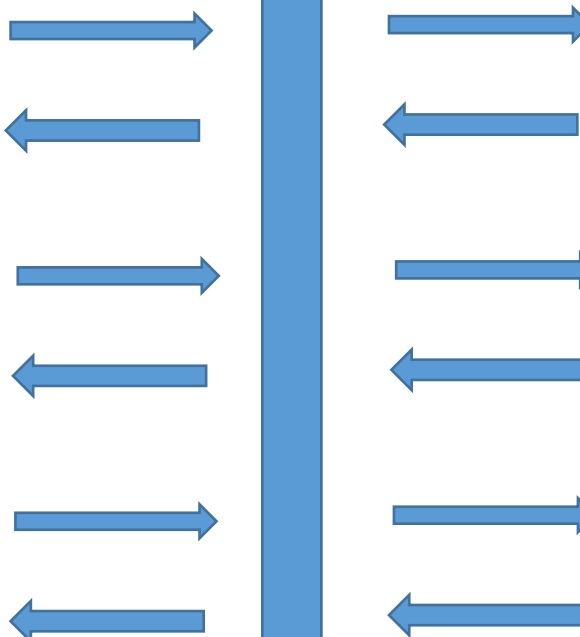
岩手モデル

地域の歴史・文化



3.11,2011

住民主体
内発的復興



個人

組織

協働

総合

阪神淡路大震災
中越地震

・
・

国連仙台枠組み

Build Back Better

Advance Recovery

レジリエンス

よりレジリエントな地域社会へ

3.11,2011

緊急対応

安否確認, 救命・消防
支援物資搬入
現地被害調査
被災者ニーズの把握
ボランティア . . .

復旧・復興

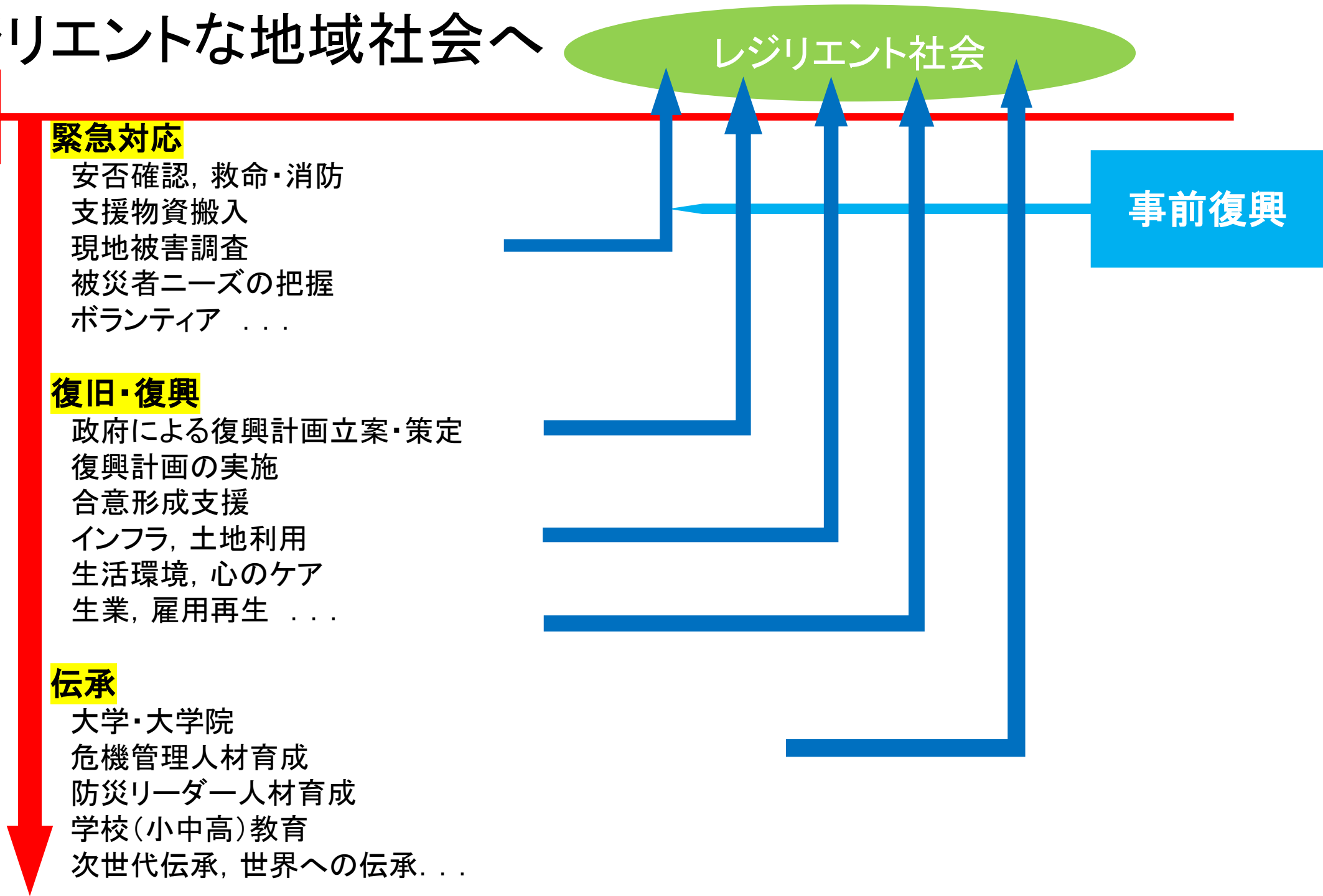
政府による復興計画立案・策定
復興計画の実施
合意形成支援
インフラ, 土地利用
生活環境, 心のケア
生業, 雇用再生 . . .

伝承

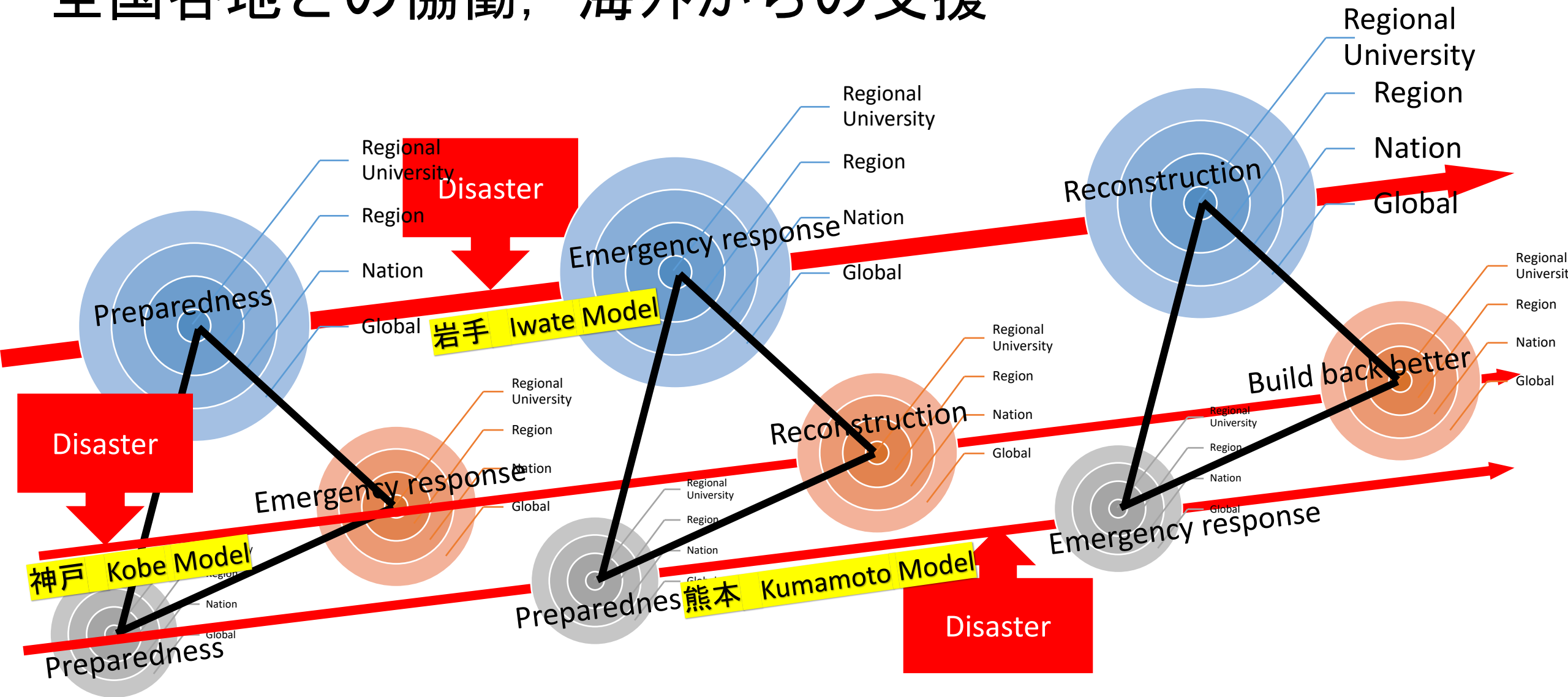
大学・大学院
危機管理人材育成
防災リーダー人材育成
学校(小中高)教育
次世代伝承, 世界への伝承 . . .

レジリエント社会

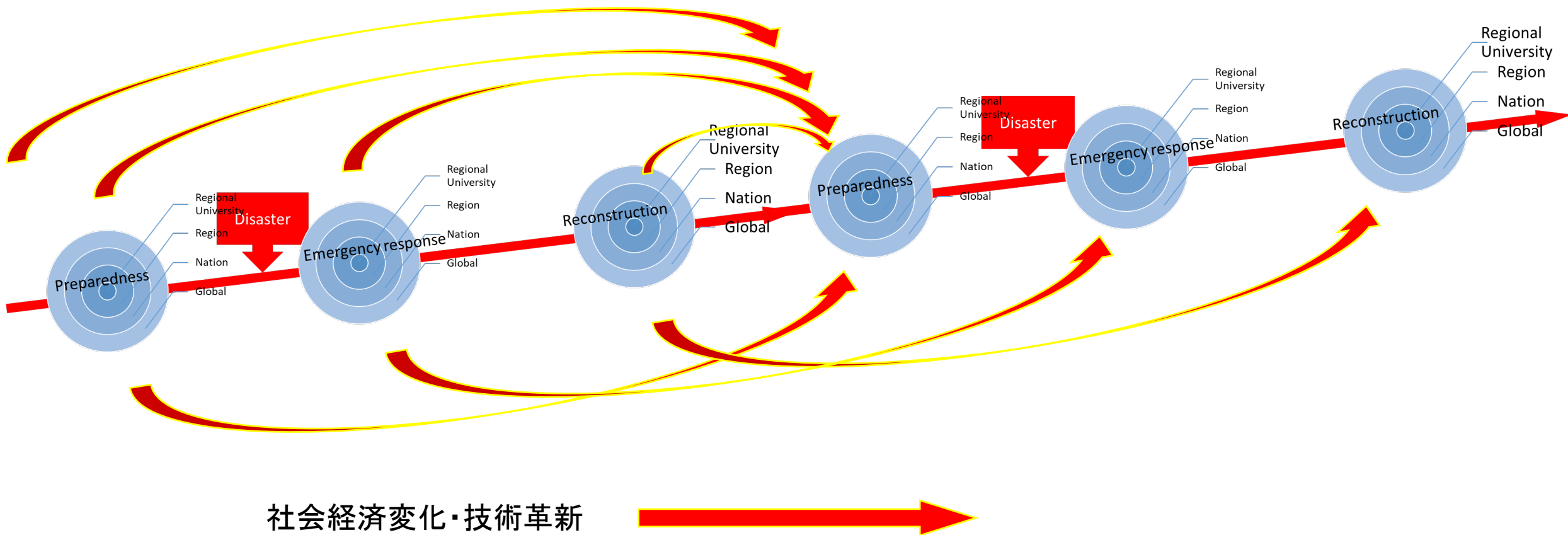
事前復興



全国各地との協働，海外からの支援



伝承 命・人生をつなぐ



東日本大震災津波伝承館 ミッション・ステートメント

日本列島は、地球上でも特に自然災害の危険性が高い宿命の地であり、この地に生きる私たちは、長年にわたり自然災害への対応力を高めてきました。

しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。

この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。

そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。

東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNSMIメモリアル



展示テーマ

命を守り、海と大地と共に生きる

～ 二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために ～

ゾーン2 事実を知る

ゾーン3 教訓を学ぶ

ゾーン4 復興を共に進める

ガイダンスシアター

ゾーン1 歴史をひもとく

エントランス

いわて震災津波アーカイブ「希望」



新たなまちづくりへ 宮古市の場合



宮古市立地適正化計画検討

協議会、有識者会の事前会議

～立地適正化計画検討の進め方～

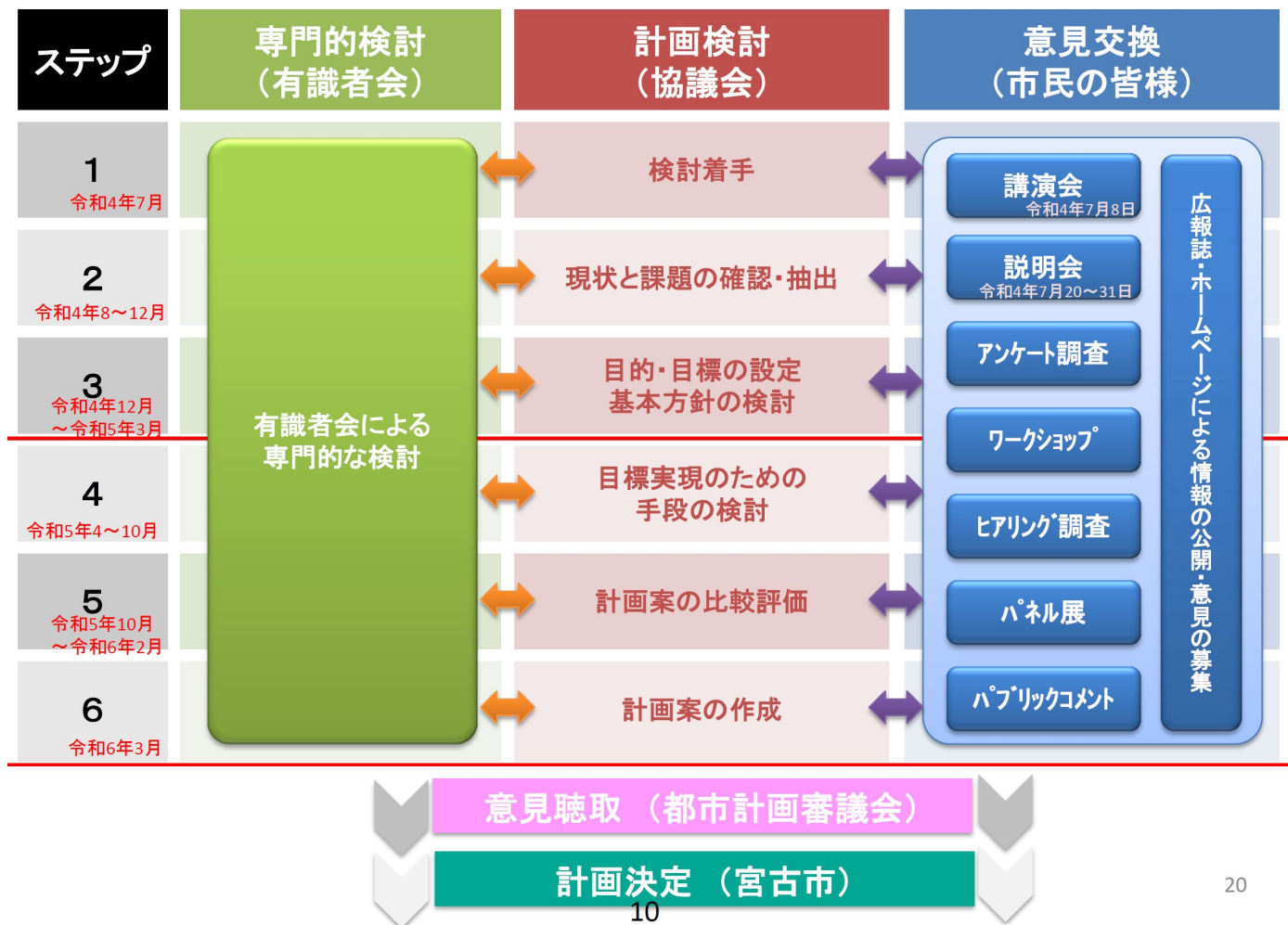
宮古市 都市整備部
都市計画課

令和4年7月8日(金)午後4時から
宮古市市民交流センター 2階 多目的ホール

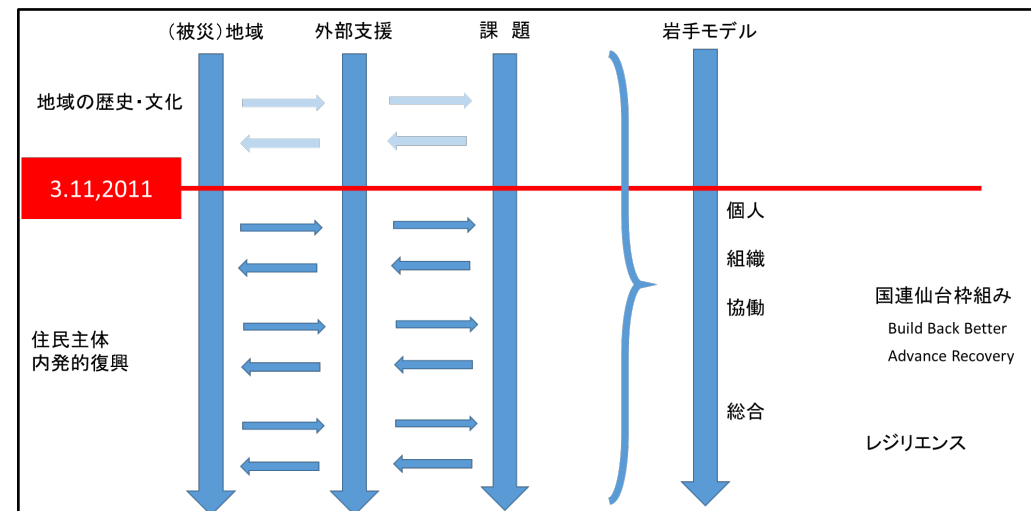


3.11復興を踏まえて

検討の進め方



20



課 題（一部）

- 災害公営住宅等孤立回避，こころのケア
 - インフラの維持管理，交通インフラ活用
 - 未利用地の活用
 - なりわい再生
 - 人口減少，少子高齢下でのまちづくり
沿岸部人口 223,287人（2021/6/1） 49,650人＝18.2%減少（2011/3/1比較）
 - 次の津波への対策
-

3.11から11年目 鎮魂, そして未来への祈り

宮古市田老地区

2022/3/11 撮影



陸前高田

2022/3/20 撮影



ご清聴ありがとうございました.